

1 青年会議所（JC）の活動

日本全国約 700 の地域に約 40,000 人の『奉仕』『友情』『修練』という三信条のもと、率先して行動する仲間がいます。半世紀以上も前から、時代は変われど『明るい豊かな社会』の実現を目指す指導者たらんとする青年団体、それが青年会議所（JC）です。

メンバーは、国籍・人種・性別・職業・宗教の区別無く、20 歳から 40 歳までの志の高い青年経済人によって構成されております。

青年会議所の始まりは、1949 年『日本はこの先どうなるのだ』という、今以上に混沌とした戦後の時代背景の中、全国各地で志ある若者たちが立ち上がり、青年会議所運動は始まりました。そして 1951 年、全国各地で活動していた青年会議所が集まり日本青年会議所（日本 JC）を創設。以来、日本の青年会議所運動の枢軸として各地の青年会議所と連携し活動を展開しております。

日本青年会議所は国際青年会議所（JCI：Junior chamber International）の一員です。国際青年会議所は、世界 110 カ国以上、約 4,550 の地域に約 17 万人の会員を有し、OB は数百万人以上という組織です。（JCI ホームページより）

（1）盛岡青年会議所の概要

創立：1953 年（昭和 28 年）、2011 年（平成 23 年）一般社団法人に移行

会員数：126 名（平成 25 年 1 月 1 日現在）

一般社団法人盛岡青年会議所（以下、盛岡 JC）とは、『明るい豊かな社会』の実現を目指し、様々な活動を行う団体です。次世代のあるべき姿を見据え、市民・企業・行政・諸団体と連携しながら、主体性を持って活動を行っています。社会を様々な角度から多面的に捉え、社会発展のための運動を実施しています。

盛岡 JC は、次世代の担い手としての責任を自覚する青年（20 歳から 40 歳）が集う団体です。同じ理想と使命感を持つ青年が集い力を合わせることで、友情を育み、互いに切磋琢磨し、若さが持つ無限の可能性を引き出しあっています。日々の活動を通じて、社会・地域のリーダーや指導者としての能力を鍛えることも行っています。

（2）盛岡青年会議所の活動紹介

昨年度に実施した主な事業を紹介します。

●盛岡さんさ踊り

盛岡青年会議所は盛岡さんさ踊りに主催団体の一つとして深く関わっています。本番そして練習会を通して多くの市民の方とふれあい、盛岡さんさ踊りを盛り上げる一翼を担っております。

●わんぱく相撲盛岡場所

毎年数多くの小学生が岩手県内から集まり、両国国技館で行われる全国大会を目指して挑むわんぱく相撲盛岡場所も今年で 26 回目。盛岡青年会議所が行う青少年育成事業のひとつです。

●震災復興支援

震災後2日目には沿岸被災地に入り、全国各地から送られてくる物資の輸送や現場復旧の懸け橋となった。地元の青年経済人として、これからも東北復興の灯を絶えず燈し続ける。

●『もりおかVision 探求』～もりおかAction 宣言～

盛岡駅前フェザンで行われた『もりおかAction 宣言』では、市民の方々が盛岡の為に何かする心の醸成を行い、多くの市民の方々が盛岡の為にを行う事を宣言してくれました。

●市民協同参画事業 モリッオーカー ～人が輝くまち盛岡～

写真をヒントに同じ場所を探し当てるフォトラリー。市民と共に計画段階から行い、盛岡伝統文化や魅力を発見し、改めて盛岡に暮らし続けることに誇りを持ってもらう機会となりました。

●『絆』～さらなる復興にむけて 見せてやろう底力～

東日本大震災から1年、3月10日に中津川河川敷に鎮魂とさらなる復興にむけて“絆”の文字をキャンドルに灯すなど、復興にむけての発信事業を行いました。

●みらい便 ～10年後のわたしへの手紙～

盛岡市内小学生、約100名が今の自分を10年後に伝えることと10年後にどうなっているか考え手紙を書き2022年に自分に手紙が届くという事業です。

●国際交流 ～羅東国際青年商會との姉妹交流～

盛岡青年会議所では台湾の羅東国際青年商會と姉妹交流をしており今年で45年目を迎えます。また地域に住む外国の方々との国際文化交流を行い相互理解を深め、まちなり方を考えていきます。

2 市民討議会とは

(1) 市民討議会とは

ドイツで住民自治の手法として行われているプラーヌクスツェレを日本風にアレンジし取り入れたもの。

これまで地域行政などで実施されてきた『市民の声を聞く仕組み』は、公募制やパブリックコメント、タウンミーティングなど、予め行政が選んだメンバーや設営で、比較的政治に積極的な人の意見を聞くものが主でした。

これに対して『市民討議会』とは、無作為に抽出した方々に招待状を出し、その中から参加の意思表示を頂いた方々にあるテーマに従って公正な情報提供を行った上で小グループに分かれてじっくりと討議していただきます。

そして、テーブル毎に意見を取りまとめ、そのテーブル毎の意見に対して全員で投票します。結果については、多数意見だけでなく、少数意見を含めた全ての意見と獲得票数を明記して広報する、という『新しい市民の声を聞く仕組み』です。

2005年に初めて東京都千代田区で社団法人盛岡青年会議所によって試行実施され、今では、青年会議所を中心に全国各地で開催されるようになりました。

(2) 市民討議会という手法について

ア 開催当日まで

市民討議会は、まず討議会に参加する候補者を、住民基本台帳などから無作為抽出する。そして、抽出されて住民の中から参加応諾した人により討議が行われます。

- ・無作為抽出

候補者を住民から無作為に抽出する。なお、20歳以上又は18歳以上を対象とする場合が多いです。

- ・出席要請

市民討議会の出席要請の通知を主催者に送付します。

- ・出席可否の返信

通知が送られた中で、参加できる住民が返信を送付します。(出席者の確定)

イ 開催当日

参加者が確定し、討議会当日を迎える。討議会は1日又は2日行われるのが一般的です。なお、参加者の利便性に配慮し、週末や休日を利用する場合が多い。

- ・班分け

当日出席した住民を5～6人の班に分けます。また、班内で、進行係・発表係などの役割分担も決めます。また、その際に自己紹介が行われる場合も多いです。

- ・討議テーマの支持

主催者側から当日討議されるテーマが発表されます。出席要請時に通知する場合もあります。

- ・情報提供

専門家や行政などから、データなどを用いて客観的に現状や課題について説明が行われます。

- ・ アイディア記入
 討議テーマに基づいた各人の解決アイディアを付せんに記入します。時間を決めて、より多数のアイディアを記入するようにします。このアイディアを出す方法は、KJ法と呼ばれる方法を用いています。
- ・ グループینگ
 班員全員のアイディアを提出し、似たようなものを分けます。
- ・ 討議
 グループینگされたアイディアを元に、より良い課題解決に向けて、班内で討議を行います。
- ・ まとめ
 討議の結果を3つくらいのアイディアに集約します。
- ・ 結論記入
 まとめた内容を、模造紙などの大型の紙に記入します。記入したものは、見やすいように壁などに掲示します。
- ・ 発表
 班ごとに記入された討議結果を発表します。
- ・ 投票
 全ての発表を終えた後、他の班も含め全ての結果の中から、自分が良いと思ったアイディアに各自が投票します。一般的に結論が記入された模造紙などの大型の紙にシールを貼る形式が多いです。

以上で討議の1サイクルが終了します。休憩時間をはさみ、メンバーをシャッフルして、また別の討議テーマに臨み、上記サイクルを繰り返します。

ウ 開催終了以降

討議結果を含め、結論を集約する「報告書」を作成します。

報告書を作成した後、行政への提出はもちろん、マスコミなどを通じて広く内容を発表します。

3 参加者アンケート結果

参加者数36名のうち、31名の方がアンケートを回答しました。

(1) 参加者について

■F1 あなたの性別をお答えください。

■F2 あなたの年齢をお答えください。

年代	男	女	計
10 歳代	0 名	0 名	0 名
20 歳代	3 名	2 名	5 名
30 歳代	3 名	2 名	5 名
40 歳代	3 名	2 名	5 名
50 歳代	1 名	2 名	3 名
60 歳代	4 名	2 名	6 名
70 歳代	4 名	2 名	6 名
80 歳代	1 名	0 名	1 名
計	19 名	12 名	31 名

■F3 これまでに、市が策定する計画に対して意見を提出（パブリックコメント）したり、まちづくりに関するワークショップ（意見の取りまとめ）に参加されたことはありますか。

ある	ない	計
1 名	30 名	31 名

(2) 参加の動機について

■問1 参加された動機についてお聞かせください。（複数回答可）

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1 市政全般に関心があったから | 2 テーマに関心があったから |
| 3 市民同士で意見交換をしてみたいと思ったから | 4 討議会の案内が届いたから |
| 5 出席に伴う謝礼金があったから | 6 託児所があったから |
| 7 その他（ _____ ） | 8 特に理由はない |

回答番号 年代	1	2	3	4	5	6	7	8
10 歳代								
20 歳代		2 名	1 名	4 名				1 名
30 歳代		3 名	2 名	1 名	1 名		1 名	
40 歳代	2 名	3 名	2 名	1 名	1 名			
50 歳代	2 名	3 名	1 名					
60 歳代	1 名	2 名	2 名	1 名				1 名
70 歳代	5 名	4 名	2 名	2 名				
80 歳代	1 名	1 名		1 名				
計	13 名	18 名	10 名	10 名	2 名	0 名	1 名	2 名

「7 その他」の自由記載内容

- ・授業での活用を考えたから（30 代男性）

(3) 参加した感想について

■問2 ご自身のアイディアや意見は十分に出せましたか。

回答番号 年代	1 出せた	2 あまり出せ なかった	3 どちらでも ない
10 歳代			
20 歳代	3 名	2 名	
30 歳代	5 名		
40 歳代	4 名	1 名	
50 歳代	3 名		
60 歳代	4 名		2 名
70 歳代	4 名	1 名	1 名
80 歳代	1 名		
計	24 名	4 名	3 名

○「1 出せた」の自由記載内容

- ・付せんを使って、まず自分の意見を言う場があった。「まとめ」だけでなく「残したい意見」の欄があったため。(20 代男性)
- ・このような事を話す事がなかったから。(20 代男性)
- ・皆の前で発表するのはとても緊張しました。とても役立つことが多くて、勉強になりました。(20 代女性)
- ・討論の中で、自分の意見を出すことができたことと、他の方々の幅広い貴重な意見を聞くことができました。ありがとうございました。(30 代男性)
- ・雰囲気良く、難しい議題ではあったが自分の意見が出せたと思う。(30 代男性)
- ・どの方も意識が高かった。(30 代男性)
- ・テーマごとにムラはあったが、概ね出せたと思う。(30 代女性)
- ・批評、批判はしないという前提があったお蔭で、自由に発言できた。(30 代女性)
- ・グループディスカッションが活発に出来た。(40 代男性)
- ・司会・進行のお心遣いにより。ありがとうございました。(40 代女性)
- ・自由に発言できる感じで言えたと思う。回数を増やし(参加市民を増やす)開催して欲しい。(40 代女性)
- ・ブレインストーミング形式で、いろいろな発想が生まれた。(50 代男性)
- ・皆さんに聞いていただける感じで、話しやすかったです。ただ、前もって討議内容が判っていれば色々勉強でき討議も充実できたでしょうか。これから色々気に留めて見ていきたいと思います。このような機会をいただき、ありがとうございました。(50 代女性)
- ・盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会の皆様の取り計らい方が良かったので、意見の交換、意見の発言が出来た。進め方が良かった！(50 代女性)
- ・地域性の問題を発表できた。(60 代男性)
- ・反対意見が言えなかったのが辛かった。(60 代男性)
- ・午後の討議は、とても難しいと思いました。20 年後の社会がどう変わっているかと考えると、今どうすればいいかと考えることができない。(60 代女性)
- ・最低限、班の皆さんには説明できた。(60 代女性)

- ・土地の有効活用を議論したかったが、テーマは建物でしたので残念に思っております。(70 代男性)
- ・大変勉強になりました。提言はよろしくお願い致します。(70 代男性)
- ・勉強が充分でなかった。(70 代女性)
- ・今までこの様な事は初めてで、また集まりたいです。(70 代女性)
- ・もっと私の発言の時間が欲しかった。昭和4年生まれです。昔のことから現在に至る変りようを発言したかったです。これからもドシドシ開催してください。ご健闘を祈ります。(80 代男性)
- 「2 あまり出せなかった」の自由記載内容
 - ・テーマが難解で意見が出せなかった。(20 代男性)
 - ・いろんな意見が言える機会をもっと増やして市民参加ができると市の運営に興味が出てくると思います。(40 代男性)
- 「3 どちらでもない」の自由記載内容
 - ・意見は出したが、同様の意見があった。(40 代男性)
 - ・テーマが漠然としている(60 代男性)
 - ・まちづくりに対する意識が高まりました。大変勉強になりました。(70 代男性)

■問3 会議の日数や時間について(長さ、参加のしやすさなど)、お気づきの点がありましたら、お聞かせください。(自由記入欄)

- ・楽しかったです。(20 代男性)
- ・最初、討議会の流れが完全に把握できておらず、スムーズに討議を行えなかった気がしたので、練習討議の時間を少し増やすなどすれば良かったと思う。(20 代男性)
- ・もう少し時間があっても良かったと思う。(20 代男性)
- ・最初の意見を出す時間が少し短く慌ただしい部分があったかなと思う。(30 代男性)
- ・会議の日数・時間ともに適していたと思います。(30 代女性)
- ・日数・長さともに良いと思います。これ以上でもこれ以下でも良い意見は出ないと思う。(30 代女性)
- ・2日目にアイスアリーナで実施したのは、この施設の老朽化も視察するものと思っておりました。(40 代男性)
- ・意見を出す時間はもう少しあった方が良い。(40 代男性)
- ・適当。(40 代男性)
- ・実際にやってみると、時間は足りないように感じましたが、大変疲れもしましたので適正かと思います。(40 代女性)
- ・ちょうど良かったです。(50 代女性)
- ・適正だと思う。(60 代男性)
- ・討議の時間が短かった。(60 代男性)
- ・ちょうど良かった様に思います。(60 代女性)
- ・日数・時間ともに良いと思いました。(70 代男性)
- ・時間が短時間であった。(70 代男性)
- ・アイスアリーナが遠いです。(70 代男性)
- ・今回の2回ぐらいで良かったです。(70 代女性)

■問4 情報提供について(内容や量など)お気づきの点がありましたら、お聞かせください。

- ・盛岡市民ではあるが完全に盛岡市内を熟知しているわけではないので、盛岡市の地図などがあれば良かったと思う。(20代男性)
- ・今回は情報が少なく感じた。(30代男性)
- ・もう少し具体的事項について議論ができればよかったかと思います。(30代女性)
- ・思いのほか、たくさんの資料を見せていただいて参考になりました。(30代女性)
- ・数字だけ出されてもよくわからない。もう少し詳しい資料が欲しい。(40代男性)
- ・情報は、全体的なものから個別的なものへと順番で出すべきでは？バスでの見学は最初ではないと思います。(40代男性)
- ・むずかしいテーマでした。視覚化された資料が多いといいと思います。(40代女性)
- ・良かった。(60代男性)
- ・市側の情報が少ない。例、年間予算、負債額など。(60代男性)
- ・市の財政の一部を知る事ができて有意義だった。(60代男性)
- ・大変参考になりました。(70代男性)
- ・市が保有する土地の有効活用を議論したかった。(70代男性)

■問5 その他、市民討議会を通じて感じたご意見等をご自由にお書きください。

- ・市民の考え、意見を取り入れるという素晴らしい取り組みだと思います。会の回数を増やす。市民や民間を入れて委員会をつくり長期的に討議を行う。若者がもっと参加できるようにすると良いと思います。(20代男性)
- ・このような機会はもっとあっても良いと思う。(20代男性)
- ・自分では思いつかないアイデアや意見を聞けて良かったです。自分達が出した意見やアイデアが反映されて、今より素敵な盛岡になったら良いなと思います。(20代女性)
- ・いろいろな年代の方と交流することで、自分にはない意見や考えがたくさん出て、いろんな考えが分かりました。最初は不安だったけれど、とても有意義で楽しかったです。また、機会があれば参加したいです。その時には、もっと積極的に発言していきたいです。(20代女性)
- ・もし、機会があれば次回も参加したい。(30代男性)
- ・タテモノだけでなく、もっとたくさんのテーマで討議会を開くべき。(30代男性)
- ・個々の意見を書くのは良かったが、まとめの時に、どうしても声の大きな人の意見が通ってしまうことがある。ぜひ、報告書にまとめる時は、個々の意見も組み込んでください。(30代女性)
- ・クールジャパン→日本食の世界遺産登録などに沸いています。盛岡の伝統工芸の評価は外部から高いのに、市民はさっぱりです。「クール・モリオカ」これからのコンセプトだと思います。何よりも盛岡人の気質、心優しく人徳も高い。自信を持って、次の時代へ行きましょう。(40代男性)
- ・まちづくりに関する市民討議会をもっとやった方が良い。また、市民の意見をしっかり市に提言して反映して欲しいです。(40代男性)
- ・グループから出たまとめを、改めて付せん紙に書いてまとめる作業をすると、よ

- り意見が集約できると思います。(40代男性)
- ・年代のバランスが取れていたのも、世代間の意見の違いや相似にも気づかされました。(40代女性)
 - ・またこのような討議があれば、ぜひ参加したいと思います。その時はお金は要りません。この様な交流がとても嬉しく思っております。(50代女性)
 - ・自由討議(全体)がないのはさびしい。(60代男性)
 - ・中高生の柔軟な意見が聴きたかった。長く生きるに連れて固定観念が強くなる。(60代男性)
 - ・市民は市を良くするための努力を惜しまないと思います。(60代男性)
 - ・若い人が堅実な考えを持っているなと頼もしく思いました。(60代女性)
 - ・飲み物は助かりましたが、お菓子は必要ないかも。(60代女性)
 - ・みんな発言が多く参考になった。樹木葬について報道されたので全国的に話題になっている。(70代男性)
 - ・どの方も積極的に取り組んでいました。(70代男性)
 - ・タテワリの件について、初めて意見を述べたりし、とても役立ったと思います。(70代女性)

4 その他

(1) 盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会規約

盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会規約

(名称)

第1条 この会は、盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）という。

(目的)

第2条 実行委員会は、盛岡市の「新しい盛岡市総合計画」及び「公共施設保有の最適化と長寿命化の計画」の策定に際して、市民意見を把握するため、市民討議会を実施するとともに、市民討議会を通じ、市政に対する市民意識の高揚を図ることを目的とする。

(所掌事項)

第3条 実行委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 市民討議会の実施に関すること。
- (2) 市民討議会の内容等に係る報告書の取りまとめに関すること。
- (3) その他市民討議会の実施に関し必要と認められること。

(組織)

第4条 実行委員会は、委員 20 人以内をもって組織し、委員は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 一般社団法人盛岡青年会議所会員
 - (2) 盛岡市職員
 - (3) 前2号に掲げる者のほか実行委員会が特に必要と認める者
- (役員)

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1 人
- (2) 副委員長 1 人
- (3) 監事 2 人

2 委員長は、委員の互選とする。

3 副委員長及び監事は、委員長が指名する。

(役員の職務)

第6条 委員長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 監事は、実行委員会の会計を監査する。

(任期等)

第7条 役員及び委員の任期は、平成 26 年 3 月 31 日までとする。

(部会)

第8条 委員会に次の部会を置く。

- (1) 総合計画部会
- (2) 公共施設部会

2 部会に属すべき委員は、委員長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選とする。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

(会議)

第9条 実行委員会の会議は、委員長が招集する。

2 実行委員会は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第10条 実行委員会の事務を処理するため、盛岡市に事務局を置く。

2 事務局に事務局長その他必要な職員を置く。

3 委員長は、その権限に属する一部の事務を事務局長に専決させることができる。

(経費)

第11条 実行委員会の経費は、盛岡市が負担する負担金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第12条 実行委員会の会計は、実行委員会の設立時から始まり、平成25年12月31日をもって終わるものとする。

(雑則)

第13条 この規定に定めるもののほか、実行委員会の運営等に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この規定は、平成25年6月21日から施行する。

(2) 盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会委員

	団体名	役職名	委 員	備考
1	盛岡青年会議所	理事長	浦田 学	委員長
2	盛岡青年会議所	専務理事	岩淵 健二	(公共施設部会)
3	盛岡青年会議所	地域未来室 室長	佐藤 吉和	監事(総合計画部会長)
4	盛岡青年会議所	担い手育成室 室長	高橋 一仁	副委員長(公共施設部会長)
5	盛岡青年会議所	総務広報委員会 委員長	吉田 光晴	(公共施設部会)
6	盛岡青年会議所	地域交流委員会 幹事	田畑佳奈子	(総合計画部会)
7	盛岡青年会議所	地域のつながり創造委員会 幹事	荒木 政友	(総合計画部会)
8	盛岡青年会議所	未来の担い手育成委員会 委員	八木橋美紀	(総合計画部会)
9	盛岡青年会議所	総務広報委員会 委員	藤田 竜一	(公共施設部会)
10	盛岡市	財政部資産管理監	川端 順二	監事
11	盛岡市	市長公室企画調整課 計画係長	藤澤 法輝	(総合計画部会)
12	盛岡市	市長公室企画調整課 主任	高畑 扶実	(総合計画部会)
13	盛岡市	財政部資産管理活用事務局 副主幹	壽 俊行	(公共施設部会)
14	盛岡市	財政部資産管理活用事務局 主任	上森 貞行	(公共施設部会)
	事務局長	市長公室 企画調整課長	古舘 和好	事務局長
	事務局	盛岡市市長公室企画調整課・財政部資産管理活用事務局		



大新小の校舎を視察する市民討議会の参加者（12日）

盛岡市は、2015年度からの新総合計画と市保有施設の最適化・長寿命化の計画について、策定過程から市民参加を募る新たな手法として「まちづくり市民討議会」を採用している。無作為抽出した3千人から公募し、応募者から計画分野のそれぞれ約40人を選抜。若男女が参加し、今月各討議会が視察や情報提供を踏まえて話し合いをし、意見を集約。市が計画や施策に反映させる。

まちの未来 市民が語る 盛岡市が討議会設置

討議会は実行委員会（委員長・浦田孝盛岡青年会議所理事長）が立ち上げられ、6月から

市保有施設に関しては12日、第1回討議会が開かれた。浦田委員長は開会あいさつで「討議会は耳慣れないと思うし、歴史が浅い。盛岡市として初めての取り組みで、まちづくりに関して市民参加を得て一緒に考えよう」と準備してきた。自分も市のこと知らないことが多い。討議会が盛岡の未来、豊かさにつながることを期待する」と述べた。

同日は38人が参加し、市立大新小や厨川地区活動センター、青山2・3丁目アパートを視察した。その後、公共施設の視察を通じ

総計や公共施設の最適化

ら準備が進められた。テーマは総合計画が「未来のまちをおかミィーティング」市保有施設の最適化・長寿命化が「考えよう！みんなのタテモノの未来」それぞれ今月2日間の討議会がある。

「感じたこと」を発表し合ったほか、公共施設の老朽化問題に対する今後の取り組みについて情報提供があり、さらに討議を重ねた。

大新小では佐々木健校長の案内で1973（昭和48）年開校以来の校舎や数年後に建造された別の校舎を紹介された。壁の剝離、雨

漏り、冬季の凍結など老朽化した建物の現状と対応策が説明された。参加者は災害時の指定避難所として毛布やアルファ米の備蓄量などを知った。

参加した盛岡大学4年の藤田沙織さん（22）は「今まで討論などに参加する機会がなかった。盛岡の未来、建物の未来についてがテーマだったので、就職も盛岡でしたいと考えているので社会人として参加したいと思った」と意欲的だった。

次回は27日で地域で利用・全市的に利用する。市は総合計画策定に向けてアンケート、まちづくりへの提言・アイデア・提案の募集、市民意見交換会なども実施。14年度には市民意見募集と説明会も行われ、策定の進め方、状況をホームページなどで市民に情報発信する考え。

る公共施設の今後について情報提供を受け、話し合いをする。総合計画の討議会については14日に1回目が開かれる。中心市街地の活性化、子育てしやすいまち・子育てしたくなるまちについて識者から情報提供があり、話し合いが行われる。

民意映す総合計画に

盛岡・市民
討議会 40人が意見交換

2015年度を初年度とする盛岡市次期総合計画策定に向け、市が新たな市民参画の場として設けた「まちづくり市民討議会」が14日、同市中ノ橋通のプラザおでつで開かれた。無作為抽出した市民からメンバーを選び、サイレントマジョリティー（物言わぬ多数派）の考えを吸い上げる狙いがある。

「未来のまちおかミ―ティング」と題し、老若男女のメンバー40人が▽中心市街地をもっと元気にするために▽子育てしやすいまち、子育てしたくなるまちとは―の2テーマを話し合った。

数人のグループで意見交換後、気になった考えに投票して意見集約した。中心市街地では「個人の商店が減っている」「交通の便が悪い」「大通は居酒屋だらけ」など率直な意見が出された。

最終回の26日は、高齢者が生き生きと暮らせるまち、盛岡の魅力発信をテーマに話し合う。討議結果は報告書にまとめ、来年12月に策定する総合計画に反映させる。

市民討議会は、市政に意見を述べる機会が盛岡では無作為抽出



中心市街地の課題について意見を出し合う市民討議会のメンバー

少ない住民の考えを取り入れる手法として近年、全国的に広がっている。盛岡では無作為抽出した3千人の中から希望者を募り、抽選でメンバーを決めた。総合計画のほか、公共施設保有の最適化と長寿命化の計画策定でも討議会を開催している。

市は託児所を設け、参加しやすい環境づくりにも力を入れた。市企画調整課の藤沢法輝係長は「これまで（市政に）意見を述べたことのない初顔が多く、多彩な考えが出るのでは」と期待する。

（岩手日報 平成25年10月16日より転載）

(4) 案内チラシ

★ 盛岡青年会議所、盛岡市との協働で運営します。

★ 参加者には2日で 6,000円 の謝礼をお支払いします。

★ 討議した結果を報告書にまとめ市に提出します。

考えよう！ みんなのタテモノの未来

「テーマ共に考え・語ろう！公共施設のこれから」

盛岡市まちづくり市民討議会

あなたの意見で
盛岡をつくろう!!



盛岡市広報キャラクター
モリイ

【日時・場所】

1
日目

2
日目

平成 25年 10/12(土)

9:30(開会)▶16:30(閉会)

プラザおでって

盛岡市中ノ橋通一丁目1-10

平成 25年 10/27(日)

9:30(開会)▶16:00(閉会)

盛岡市アイスアリーナ

盛岡市本宮五丁目4-1

Q.市民討議会って何？

市民討議会とは、世代や職業を超えて様々な市民の方々に集まっていただき、グループに分かれ、リラックスした雰囲気の中で盛岡のまちづくりなどについて話し合っただけの市民参加の場です。

Q.どういう人が参加できるの？

市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に3,000人を選出させていただきます。会議の参加依頼のご案内状をお送りしています。

Q.どんなことをするの？

市有施設を視察し、現状や課題などを挙げながら、テーマに沿って公共施設の未来について話し合います。

※話し合いの前に、現状などの情報提供(説明)がありますので、特別な知識や準備がなくても参加できます。

主 催：盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会(盛岡青年会議所・盛岡市)

【お問い合わせ先】 盛岡市財政部資産管理活用事務局 TEL 019-603-8007 / FAX 019-622-6211 / E-mail sisankanri@city.morioka.iwate.jp

盛岡市まちづくり市民討議会
『考えよう！みんなの**タデモ**の未来』
～共に考え・語ろう！公共施設のこれから～
市民提言書・実施報告書

2013 年 12 月発行

編集・発行 盛岡市まちづくり市民討議会実行委員会
事務局 〒020-8530 岩手県盛岡市内丸 12-2 盛岡市役所内